

## 第21回大阪病院学会：優秀演題受賞者一覧

※座長からのコメントは下部へスクロールしていただき、ご確認ください。

看護1	「COVID-19重症患者のための臨時医療施設における人材管理について―派遣看護師とのチームビルディングの実際」
	<b>0-5 中谷 縁</b> (地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 大阪コロナ重症センター)
看護2	「コロナ禍に対応した看護師業務の改善」
	<b>0-11 清瀬 靖子</b> (社会医療法人美杉会 佐藤病院 看護部)
看護3	「CPA(DNARを含む)患者の家族ケアに対する看護師の意識調査～デスカンファレンスを導入することによる効果～」
	<b>0-21 柴山 朋子</b> (社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院)
看護4	「下部内視鏡検査を受ける患者に対して「内服・排便チェックシート」を使用した結果」
	<b>0-26 前田 知哉</b> (社会医療法人景岳会 南大阪病院)

## 第21回大阪病院学会：優秀演題受賞者一覧

※座長からのコメントは下部へスクロールしていただき、ご確認ください。

看護5	「新型コロナウイルス感染症重症患者への腹臥位療法導入～チームで取り組んだ成果～」
	<b>0-36 富永 亜有実</b> (社会医療法人生長会 阪南市民病院 HCU病棟)
看護6	「筋力低下に伴い開口状態が持続する患者に対する胸郭・咬筋マッサージの取り組み」
	<b>0-40 山本 順子</b> (社会医療法人 きつこう会 多根第二病院)
看護7	「看護実践の語りを通じた卒後教育の継続」
	<b>0-47 藁科 志保</b> (国家公務員共済組合連合会大手前病院)
看護8	「ITを活用したコロナ禍での安全衛生委員会の取り組み」
	<b>0-50 福田 誠</b> (社会福祉法人美郷会 有料老人ホームまきの美郷 小規模多機能ホームまきの美郷)

## 第21回大阪病院学会：優秀演題受賞者一覧

※座長からのコメントは下部へスクロールしていただき、ご確認ください。

看護9	「当院における骨粗鬆症治療継続率の現状調査と取り組み～テリパラチド週1回製剤の治療向上にむけて～」
	<b>0-54 田谷 礼子</b> (社会医療法人弘道会 守口生野記念病院)
看護10	「医療者・患者家族を含めたCVポート感染予防の必要性」
	<b>0-60 山本 美蘭</b> (医療法人東和会 第一東和会病院 内科)
介護	「介護職のキャリアアップへの関わり」
	<b>0-71 平岩 敏志</b> (社会医療法人ペガサス ペガサスリハビリテーション病院 リハビリテーション部)
地域連携/MSW1	「当院における子ども虐待予防の取り組み～多職種による妊娠期からの支援を通じて～」
	<b>0-77 田崎 千里</b> (済生会吹田病院 福祉医療支援課)

## 第21回大阪病院学会：優秀演題受賞者一覧

※座長からのコメントは下部へスクロールしていただき、ご確認ください。

地域連携/MSW2	「地域における在宅医療後方支援体制とACP啓発に関する病院群の取り組み」
	<b>0-84 中西 賢</b> (りんくう総合医療センター 地域医療連携室長)
病院管理1	「新型コロナウイルス感染症にかかる特例の雇用調整助成金の申請について」
	<b>0-88 宮嶌 華菜絵</b> (社会医療法人大道会 本部管理部管理課)
病院管理2	「地域の健康意識向上への取り組み」
	<b>0-96 植田 伸也</b> (社会医療法人きつこう会 法人本部 顧客サービス室)
栄養	「回復期リハ病棟における栄養補助食品を使用した栄養介入の現状について」
	<b>0-101 岸本 未希</b> (社会医療法人大道会森之宮病院診療技術部 栄養サービス科)

## 第21回大阪病院学会：優秀演題受賞者一覧

※座長からのコメントは下部へスクロールしていただき、ご確認ください。

薬剤1	「連携充実加算算定に向けての取り組み～お薬手帳活用による薬薬連携～」
	<b>0-108 松井 駿亮</b> (市立池田病院 薬剤部)
薬剤2	「CHOP likeレジメンを実施した高齢者における末梢神経障害発現のリスク因子の解析」
	<b>0-113 岡崎 秀太</b> (大阪府済生会野江病院)
臨床検査1	「臨床検査技師によるPCR検体(COVID-19)採取業務への参画」
	<b>0-123 梁本 省仁</b> (市立東大阪医療センター 臨床検査技術科)
臨床検査2	「血液培養からWohlfahrtiimonas chitiniclasticaを検出した症例」
	<b>0-128 家原 和章</b> (社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院 臨床検査科)

## 第21回大阪病院学会：優秀演題受賞者一覧

※座長からのコメントは下部へスクロールしていただき、ご確認ください。

臨床検査3	「コロナ禍の日当直業務における検査技師の不安を解消するための対応」
	<b>0-137 井上 早紀</b> (地方独立行政法人 りんくう総合医療センター)
臨床検査4	「大動脈二尖弁に合併した成人型大動脈縮窄症の一例」
	<b>0-139 越知 博之</b> (市立池田病院 臨床検査科)
診療放射線1	「最新MRI装置の導入と3次救急への取り組み」
	<b>0-151 吉見 夏穂</b> (りんくう総合医療センター 放射線技術科)
診療放射線2	「MRI安全管理ファイルの運用について」
	<b>0-155 井口 茉南</b> (医療法人橘会 東住吉森本病院 放射線科)

## 第21回大阪病院学会：優秀演題受賞者一覧

※座長からのコメントは下部へスクロールしていただき、ご確認ください。

診療放射線3	「O-MARによるアーチファクトの低減について」
	<b>0-159 春野 幹政</b> (JCHO 大阪みなと中央病院 放射線科)
リハビリテーション1	「失語症患者へ実践的なスキルトレーニングを用いて復職に繋げた一症例」
	<b>0-168 梶川 紗緒里</b> (社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院)
リハビリテーション2	「新型コロナウイルス感染患者に対する理学療法の経験～身体機能は改善したが、低酸素血症が残存した一症例～」
	<b>0-171 丹羽 徹</b> (市立池田病院 リハビリテーション科)
リハビリテーション3	「在宅復帰を促すために～リハビリ技師として取り組むこと～」
	<b>0-177 高尾 誠</b> (社会医療法人きつこう会 多根介護老人保健施設てんぼーざん リハビリテーション科)

## 第21回大阪病院学会：優秀演題受賞者一覧

※座長からのコメントは下部へスクロールしていただき、ご確認ください。

リハビリテーション4	<p>「多職種での段階的支援－役割の再獲得を目指した症例－」</p> <p><b>0-186 大西 優佳</b></p> <p>(社会医療法人若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院)</p>
リハビリテーション5	<p>「回復期リハビリテーション病棟入院中の脳卒中患者における入棟時血清アルブミン値が退院時FIMと転帰先に与える影響」</p> <p><b>0-193 矢彦 宏規</b></p> <p>(社会医療法人協和会 加納総合病院 リハビリテーション科)</p>
リハビリテーション6	<p>「後上方インターナルインピンジメント症状により投球障害を来したサイドスロー投手の一例」</p> <p><b>0-198 平岡 俊介</b></p> <p>(社会医療法人きつこう会 多根総合病院 リハビリテーション部門)</p>
リハビリテーション7	<p>「前頭葉症状が目立ちリハビリテーションの導入に苦慮した脊髄小脳変性症の一症例」</p> <p><b>0-209 桑原 優</b></p> <p>(行岡病院 リハビリテーション科)</p>

## 第21回大阪病院学会：優秀演題受賞者一覧

※座長からのコメントは下部へスクロールしていただき、ご確認ください。

リハビリテーション8	「当院における心臓リハビリテーションの取り組みについて」
	<b>O-217 古澤 隆雄</b> (社会医療法人仙養会 北摂総合病院 リハビリテーション科)
ME	「COVID-19患者に対するV-VECMOへの取り組み」
	<b>O-219 安原 猛</b> (弘道会 守口生野記念病院 臨床工学科)
感染症 (COVID-19) 対策1	「介護施設における新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて～多職種協働による初動の重要性～」
	<b>O-228 三浦 太郎</b> (社会福祉法人美郷会 特別養護老人ホーム美郷 介護療養部)
感染症 (COVID-19) 対策2	「当院におけるCOVID-19感染妊産婦の周産期管理について」
	<b>O-236 大槻 摩弥</b> (市立豊中病院 産婦人科)

## 第21回大阪病院学会：優秀演題受賞者一覧

※座長からのコメントは下部へスクロールしていただき、ご確認ください。

感染症（COVID-19）対策3	「COVID-19肺炎の診断における気管支肺胞洗浄による検体採取の意義」
	<b>0-242 日下部 悠介</b> (大阪府済生会野江病院 呼吸器内科)
感染症（COVID-19）対策4	「新型コロナウイルス感染症に関する薬剤師の取り組み」
	<b>0-252 北井 佳奈子</b> (淀川キリスト教病院)
感染症（COVID-19）対策5	「当センターにおけるCOVID19患者に対するリハビリテーションの取り組み」
	<b>0-258 伊藤 隆信</b> (市立東大阪医療センター リハビリテーション技術科)
感染症（COVID-19）対策6	「新型コロナウイルス陽性患者受け入れのための病床運営」
	<b>0-266 中村 浩子</b> (NHO大阪医療センター)

## 第21回大阪病院学会：優秀演題受賞者一覧

※座長からのコメントは下部へスクロールしていただき、ご確認ください。

医療安全1	「当院における抜針事故対策について～透析中の大量出血事故を経験して～」
	<b>0-268 天野 晃輔</b> (浅香山病院 ME室)
医療安全2	「手術安全チェックリストの再構築」
	<b>0-276 高橋 和子</b> (国家公務員共済組合連合会 大手前病院 中央手術室)
救急・災害医療	「救急受け入れ体制の構築～ベッドコントロールの重要性～」
	<b>0-280 平尾 なぎさ</b> (社会医療法人弘道会寝屋川生野病院)
ICT	「RPAによる業務の自動化について」
	<b>0-284 菊川 悠人</b> (社会医療法人大道会 本部医療情報部情報システム課)

## 第21回大阪病院学会：優秀演題受賞者一覧

※座長からのコメントは下部へスクロールしていただき、ご確認ください。

人材育成1	「コロナ禍での薬学実務実習指導を通じた学び」
	<b>0-290 矢倉 久仁香</b> (社会医療法人若弘会 若草第一病院 薬剤部 薬剤課)
人材育成2	「次世代リーダー養成研修を実施して」
	<b>0-297 田中 雅樹</b> (社会医療法人 生長会 府中病院 クオリティ管理センター 患者支援室 )
働き方改革1	「医事課内の働き方改革について」
	<b>0-300 種村 瑠美</b> (医療法人歓喜会 辻外科リハビリテーション病院)
働き方改革2	「集中治療室における12時間夜勤の導入」
	<b>0-307 明渡 一美</b> (地方独立行政法人 市立東大阪医療センター 看護局)

## 第21回大阪病院学会：優秀演題受賞者一覧

※座長からのコメントは下部へスクロールしていただき、ご確認ください。

誌上発表	「認知症ケアチーム介入による効果と今後の課題」
	<b>P-8 袖川 聖子</b> (八尾市立病院)
誌上発表	「慢性静脈不全患者に対する多職種連携による取り組み」
	<b>P-23 河合 ひとみ</b> (八尾市立病院)
誌上発表	「当院脳梗塞症例の入院早期における転帰予測の検討～ABMS-IIが転帰予測の指標となり得るか～」
	<b>P-26 奥 光聖</b> (大阪府済生会吹田病院リハビリテーション科)
誌上発表	「骨転移に対する疼痛緩和照射を受ける患者への緩和ケアチーム介入の現状と課題」
	<b>P-33 吉野 葵</b> (市立池田病院 緩和ケアチーム)

【看護1】

O-5：中谷 縁

大阪急性期・総合医療センター  
大阪コロナ重症センター

COVID-19重症患者のための臨時医療施設における人材管理について—派遣看護師とのチームビルディングの実際

今回、チームビルディングの実際について、全国から集められ定期的に入れ替わるスタッフを適正に配置しメンバーのスキルや能力の違いも見極め、最大限にその能力を発揮させるためのチーム創りの過程を、全国初の大阪コロナ重症センターの立ち上げ運営の中で適切に分析、評価されコミュニケーション、貢献意欲、共通の目標と言った組織の3要素から新たな組織を形成する過程が丁寧にまとめられていた。今後の組織運営に大変参考になる取り組みであった。

八尾市立病院 看護局長  
千種保子 座長

## 【看護2】

O-11 : 清瀬 靖子  
佐藤病院 看護部

### コロナ禍に対応した看護師業務の改善

コロナウイルス感染者の入院が増加している中で、コロナ禍に対応した看護業務改善に着目され看護師が看護師にしかできない看護ケアを直ちに取り組みれていたことを高く評価しました。また多職種も患者・家族の心理的安全性に協働され院内連携体制が構築されていることも評価しました。今後も職員の意見にも耳を傾け多職種とともに患者・家族のために、より良い医療提供体制を維持していただくことを期待しております。

市立池田病院 副院長兼看護部長  
林 由美 座長

【看護3】

O-21 : 柴山 朋子  
大阪府済生会野江病院

CPA(DNARを含む)患者の家族ケアに対する  
看護師の意識調査  
～デスカンファレンスを導入することによる効果～

年間100件以上のCPA患者受け入れに係る看護師の喪失感の大きさはかなりのものとお察しいたします。その中で、デスカンファレンスへの取り組みで看護を語る場を共有され、課題発見や意識の変容に繋がったことが、とても伝わってきました。

語りの場で、お互いの価値観を認識し、気付く力を構成され、その中で課題に対する対処法まで導き出されている点が優秀演題に相当すると思いました。

医療法人協和会千里中央病院看護管理室 看護部長  
北之園真由美 座長

## 【看護4】

O-26 : 前田 知哉  
南大阪病院

### 下部内視鏡検査を受ける患者に対して 「内服・排便チェックシート」を使用した結果

対象例数の多い検査、かつ患者様にとって排泄という尊厳に関わるところへの看護をテーマにした着眼点、看護手技を病棟で徹底できた遂行力、そして結果として内服だけ患者割合を上げることができたことを高く評価しました。羞恥心は計測しにくいものですが、高圧浣腸を減らせたことで素晴らしいケアができていると考えます。今後も頑張ってください。

大阪大学大学医学研究科 保健学専攻 特任教授  
大野ゆう子 座長

【看護5】

O-36 : 富永 亜有実  
社会医療法人生長会  
阪南市民病院 HCU病棟

## 新型コロナウイルス感染症重症患者への腹臥位療法導入 ～チームで取り組んだ成果～

専門職がtransdisciplinary teamとなり、新たなるケアへの工夫を行い治療効果を高めた。ケア計画も可視化・標準化されており、今後も継続性が図れる。  
素晴らしい取り組みであると思います。

社会医療法人愛仁会千船病院 副院長・看護部長  
後迫瑞穂 座長

## 【看護6】

O-40 : 山本 順子  
社会医療法人きつこう会  
多根第二病院

### 筋力低下に伴い開口状態が持続する患者に対する 胸郭・咬筋マッサージの取り組み

発表お疲れ様でした。開口状態にある高齢者の胸郭・開口マッサージを実施するという着眼点はとても良かったと思います。看護師と看護助手での協力で患者様へのケアを実施するというとても素晴らしい取り組みだと思います。結果において開口距離の短縮により1.3cm短く、自己による開閉が可能となったとの事。これは看護師と看護助手の連携の効果であり、今後も誤嚥性肺炎などを予防するためにも継続して頂きたいと思います。

地域密着型介護老人福祉施設エクウスプリオル 施設長  
正本恵子 座長

【看護7】

O-47 : 藁科 志保  
国家公務員共済組合連合会  
大手前病院

## 看護実践の語りを通じた卒後教育の継続

卒後集合研修を部署研修に切り換え、発表の場を「語り」というアプローチに変換されている事に卒後教育への工夫を感じました。ケースレポートを発表するだけでなく、事例展開をチームで支援し、それを「語り合う」ことで、研修生も参加者も共に新たな気づきに繋がっていると考えます。客観的に振り返るリフレクションは、人材育成やチームの活性化において、非常に効果的だと言われています。今後の取り組みにも期待しています。

社会医療法人きつこう会多根記念眼科病院 看護部長  
富永ルミ子 座長

【看護8】

O-50：福田 誠

有料老人ホームまきの美郷  
小規模多機能ホームまきの美郷

## ITを活用したコロナ禍での安全衛生委員会の取り組み

安全衛生委員会の活動についての取り組みが法人内施設に渡り行われ、コロナ禍における教育体制などを時代に即応しIC活用し変化させることにより、参加率のUP・離職率の低減など取り組み前後の評価を明確に提示されていた。発表時間も適切であった。

社会医療法人仙養会北摂総合病院 副院長  
辻 節子 座長

【看護9】

O-54：田谷 礼子  
社会医療法人弘道会  
守口生野記念病院

当院における骨粗鬆症治療継続率の現状調査と取り組み  
～テリパラチド週1回製剤の治療向上にむけて～

骨粗鬆症の治療継続を2013年から  
2021年という長期間にわたり患者お  
よび看護師へのアンケートを実践に活  
かし介入した取り組みは大変有意義で  
あり他の模範となる。

社会医療法人純幸会関西メディカル病院 看護部長  
杉原多可子 座長

【看護10】

O-60：山本 美蘭  
医療法人東和会  
第一東和会病院 内科

医療者・患者家族を含めたCVポート感染予防の必要性

約5年間のデータを整理された作業は大変だったと思います。看護師による「清潔ケア」を導入され、前後比較もデータ化され分析されていました。結果としてやや感染が増加したというのが少し研究前の予測と違っていたのかと思いますが、そこも分析されていたのはよかったです。今後も継続していただき、地域へと戻って生活していく患者さんのために感染防止に努めてほしいと思いました。発表お疲れ様でした。

社会医療法人美杉会佐藤病院 看護部長  
木下明美 座長

【介護】

O-71：平岩 敏志  
ペガサスリハビリテーション病院  
リハビリテーション部

## 介護職のキャリアアップへの関わり

発表お疲れ様でした。現状、介護職のモチベーションアップと介護の質の向上は重要課題であると考えます。この取り組みはとても斬新的で、この2つの課題解決にも繋がっていくことだと思います。介護士たちのキャリアアップを目指して今後もさらに連携し、介護士教育を推進して頂きたいと大いに期待いたします。

吹田特別養護老人ホーム高寿園 施設長  
池田恵津子 座長

【地域連携/MSW1】  
O-77：田崎 千里  
大阪府済生会吹田病院  
福祉医療支援課

当院における子ども虐待予防の取り組み  
～多職種による妊娠期からの支援を通じて～

地域周産期支援病院であり、多くの妊産婦を担当しているばかりではなく、そのなかでも社会的弱者であり小児虐待に繋がるケースを集め、多職種で出産前より関わり母親の母性を育て虐待を予防する取り組みは素晴らしいと思います。今後ますますのご活躍を期待しています。

堺市立総合医療センター 病院長  
大里浩樹 座長

【地域連携/MSW2】  
O-84：中西 賢  
りんくう総合医療センター  
地域医療連携室長

地域における在宅医療後方支援体制と  
ACP啓発に関する病院群の取り組み

今後増加が見込まれる在宅医療への対応を他病院と共に検討し実施しているところ。また、施設入所者に対して療養に関する意向確認を行っているが、特に優れていると感じたのは言語の共有化を図る為に項目の説明も併せて行われている事。多職種での連携が求められる中で共通認識を促すことはとても重要だと思います。取り組みが良くまとめられており参考になる発表でした。

多根総合病院 管理部地域支援課課長補佐  
後藤 円 座長

## 【病院管理1】

O-88：宮嶋 華菜絵  
社会医療法人大道会  
本部管理部管理課

### 新型コロナウイルス感染症にかかる特例の 雇用調整助成金の申請について

一般的に助成金の要件を満たさなければ、普通ならあきらめるところを、詳細に調べて要件を満たす可能性をみつけたことは事務方として素晴らしいと思います。特にまとめて「医療機関では馴染みがなくても受給の可能性がある情報収集を行うことが大切」と述べられていることに感心しました。発表も聞き取りやすくわかりやすいと思います。

国家公務員共済組合連合会大手前病院 病院長  
宮本裕治 座長

## 【病院管理2】

O-96：植田 伸也  
社会医療法人きつこう会  
法人本部 顧客サービス室

### 地域の健康意識向上への取り組み

健康への意識が低いことを地域の課題として取り上げたのは、地域貢献として非常に良い着眼点です。色々な病院が、地域の健康意識向上に取り組んでいるが、あまり良い結果は出ていない。当該法人は、地域活動協議会との協働による南市岡地区での成功を横展開して、大阪市港区委託事業を受託して、特定健診受診率伸び率で大阪市24区中トップとなった。大きな結果で非常に立派な活動でした。引き続きの活動に期待したい。

社会医療法人有隣会東大阪病院 本部長  
前島孝司 座長

【栄養】

O-101：岸本 未希  
社会医療法人大道会森之宮病院  
診療技術部 栄養サービス科

## 回復期リハ病棟における栄養補助食品を使用した 栄養介入の現状について

入院後栄養状態の低下が懸念される患者に対し、早期に管理栄養士が介入し、接種栄養量を改善させることはリハビリテーションの効果を高め運動FIM利得の向上に繋がる一因である。又補助的に栄養補助食品を使用することが有効であったと調査により示唆されたことは、意味のあることである。今後も積極的な早期介入を継続してほしいと思います。

泉大津市立病院 栄養管理科部技師長  
佃 暁子 座長

## 【薬剤1】

O-108：松井 駿亮  
市立池田病院 薬剤部

### 連携充実加算算定に向けての取り組み ～お薬手帳活用による薬薬連携～

連携充実加算に係る業務を実施するにあたり、地域の保険薬局へのアンケート調査の実施、その結果を踏まえた病院と地域との患者情報の共有化を目指した取り組みがなされた。

HP上にレジメン情報に加え副作用の早期発見にも対応可能な分かりやすい一覧を示され、さらにお薬手帳を連携ツールとして活用することによる地域の薬局、医療機関との情報共有を可能とした今回の発表は、今後の地域連携をさらに深めるものと大いに期待できる。

社会医療法人ペガサス馬場記念病院 薬剤部長  
小原延章 座長

【薬剤2】

O-113：岡崎 秀太  
大阪府済生会野江病院

## CHOP likeレジメンを実施した高齢者における 末梢神経障害発現のリスク因子の解析

分析結果からさらに問題抽出して、さらに研究を続けてください。併用薬、VCRの投与量をいかにするかを提案していただければさらに良かったと思います。ありがとうございます。

社会医療法人愛仁会本部 資材部  
西川直樹 座長

【臨床検査1】  
O-123：梁本 省仁  
市立東大阪医療センター  
臨床検査技術科

臨床検査技師によるPCR検体(COVID-19)  
採取業務への参画

検査法に関する発表が多い中、検体採取への臨床検査技師の参画に関する発表であり、新鮮味を感じられる内容です。全員が検体採取できるよう取り組まれており、その体制作りにも感銘を受けました。検体採取から結果報告までを担当するという、まさに Diagnostic Stewardshipの実践例です。臨床検査技師の負担・不安感の軽減が課題であるとも述べられており、半年後・一年後の様子もぜひご発表いただきたいです。

大阪大学医学部附属病院 臨床検査技部  
木村圭吾 座長

## 【臨床検査2】

O-128：家原 和章  
大阪府済生会野江病院 臨床検査科

### 血液培養からWohlfahrtiimonas chitiniclasticaを 検出した症例

本菌による菌血症は国内からの既報があるものの、比較的検出が稀であり貴重な症例報告です。

特徴的なコロニーやグラム染色の写真も拝見でき、聴講者への教育的な価値を考え優秀演題とさせていただきました。

スライドでは菌名の表記が統一されていなかったり、*Proteus mirabilis*が同時検出されるという結果に対する考察が欠けていましたので、今後より質の高い報告を続けていかれることを期待しております。

大阪医科薬科大学病院 中央検査部 臨床検査技師  
南 健太 座長

【臨床検査3】  
O-137：井上 早紀  
地方独立行政法人  
りんくう総合医療センター

## コロナ禍の日当直業務における検査技師の 不安を解消するための対応

コロナ禍において日当直業務でLAMP法を行なことが検査技師の不安が大きかったが不安の原因を取り除き業務ができるように業務改善を行ったことを評価します。

社会医療法人きつこう会法人本部 医療技術部 統括部長  
竹浦久司 座長

## 【臨床検査4】

O-139：越知 博之  
市立池田病院 臨床検査科

### 大動脈二尖弁に合併した成人型大動脈縮窄症の一例

経胸壁心エコー検査が広く普及している現在、大動脈2尖弁の発症が1%と比較的頻度の高い先天性弁膜症であれば、CT設備等のない医療機関でも遭遇する症例と考えます。今回の事例を踏まえ、このような先天性疾患に遭遇した場合、検査者が合併症を考慮し精査を行えるか、また検査技術を習得しているのかと考えさせられました。拝聴した検査者の皆様は、この事例を糧にしてくださることと思います。

社会医療法人協和会加納総合病院 検査科 主任  
福田 学 座長

【診療放射線1】  
O-151：吉見 夏穂  
りんくう総合医療センター  
放射線技術科

最新MRI装置の導入と3次救急への取り組み

貴院の取り組みに関するプレゼンについて、全体的に良くまとまっており、分かりやすい印象を受けました。また、本研究のlimitationとして新しいMRIシステムについて、臨床業務に対して十分に性能が発揮されていない点が挙げられていました。今後、これらの点について研究を更に進めていただければ幸いです。また、何かの機会に研究内容をご報告いただければと考えます。

大阪市立大学医学部附属病院 中央放射線部 主査  
佐原朋広 座長

【診療放射線2】  
O-155：井口 茉南  
東住吉森本病院 放射線科

## MRI安全管理ファイルの運用について

こんなの必要でしょ？といった一方通行の資料ではなく、予めニーズを確認する事で日常業務で活用できる資料になっていると思えました。レベル分類など誰でも理解し易く、各部スタッフや、患者さんにとってもメリットのある取り組みです。どのように利用されているか？時間経過ではどうか？放射線科スタッフの業務軽減貢献度などの検証も期待しております。

医真会八尾総合病院 医療安全管理室次長  
西村健司 座長

## 【診療放射線3】

O-159：春野 幹政  
JCHO大阪みなと中央病院  
放射線科

### O-MARによるアーチファクトの低減について

腰椎後方椎体間固定術によるチタン製ボルトに対して術後評価を行う上で、O-MARを使用した場合の最善の使用方法を、画像再構成時のスライス厚に着目し、自作ファントムによる実験から、シンスライス再構成が有用であると導き、実臨床へフィードバックした内容であり、日常の業務の中で最善の画像を追求する姿勢が素晴らしいと思います。高管電圧を安易に使用せず、同じ被ばく線量でアーチファクトが少ない再構成条件を検証するという、実際の臨床現場で診療放射線技師が常に考えるべき事ではありますが、これを実践した模範となるような取り組みであると思いました。

ベルランド総合病院 放射線室 リーダー  
奥中雄策 座長

【リハビリテーション1】  
O-168：梶川 紗緒里  
社会医療法人愛仁会  
愛仁会リハビリテーション病院

失語症患者へ実践的なスキルトレーニングを用いて  
復職に繋げた一症例

医学的評価が適切に行われ、それに基づく訓練も復職に向けた基礎的なトレーニングからスキルトレーニングへ段階的に実施できている。

復職に向けた家族への説明は、コロナ禍における感染対策を考慮して、オンラインで行い、訪問リハビリと連携し、職場復帰への継続リハビリを実践できたことは高く評価できる。

社会医療法人ペガサス馬場記念病院 理事・事務部長  
田中恭子 座長

【リハビリテーション2】  
O-171：丹羽 徹  
市立池田病院 リハビリテーション科

新型コロナウイルス感染患者に対する理学療法の経験  
～身体機能は改善したが、低酸素血症が残存した一症例～

画像初見、身体機能、ADLをしっかりと評価できている点が良かったように思います。考察において薬剤の影響を含めて身体機能の考察ができている点、低酸素血症の残存について先行研究を上手く考察に取り入れているように思います。

医療法人大植会葛城病院 理学療法課 副課長  
松田洋平 座長

【リハビリテーション3】  
O-177：高尾 誠  
多根介護老人保健施設てんぽーざん  
リハビリテーション科

在宅復帰を促すために  
～リハビリ技師として取り組むこと～

近年、在宅復帰が非常に重要視されている。その中で、在宅へ復帰する要因を分析することができた事は有用であると感じました。今後、在宅へ促すための判断材料が明確となり、方向性が早期に示せるのではないかと考え選出させていただきました。

大阪府済生会吹田病院 技士長  
入江保雄 座長

【リハビリテーション4】  
O-186：大西 優佳  
社会医療法人若弘会  
わかくさ竜間リハビリテーション病院

多職種での段階的支援  
—役割の再獲得を目指した症例—

提示された症例の疾患は報告数も少なく、今後担当となりリハビリテーションを実施する場合には非常に参考になると感じた。高次脳機能障害に対して工夫されて介入されており、効果も出ている点は良かった。他にもアプローチされていることがあったと思うので、より詳細な内容がわかるとさらに良かったと感じている。

医療法人寿山会喜馬病院 法人リハビリテーション部長  
井尻朋人 座長

【リハビリテーション5】  
O-193：矢彦 宏規  
社会医療法人協和会 加納総合病院  
リハビリテーション科

回復期リハビリテーション病棟入院中の脳卒中患者に  
おける入棟時血清アルブミン値が退院時FIMと  
転帰先に与える影響

貴重なご発表ありがとうございました。  
近年重要視されているリハビリテー  
ション栄養に関して、自院病棟内患者  
様の傾向を客観的に評価されるととも  
に、先行報告と比較して考察されてお  
られ、興味深く拝聴いたしました。最  
後にお示しされているように継続調査  
として、脳血管疾患以外の患者様を対  
象にすることや他の栄養指標での確認  
も是非公表いただきたいと感じました。

株式会社リハステージ  
訪問看護ステーションリハステージ 課長  
松岡雅一 座長

【リハビリテーション6】  
O-198：平岡 俊介  
多根総合病院  
リハビリテーション部門

後上方インターナルインピンジメント症状により  
投球障害を来したサイドスロー投手の一例

サイドスローの投球障害に対し、動作  
分析が的確、かつ非常に分かりやすく  
伝えられている点が秀逸であった。

市立吹田市民病院 リハビリテーション科 参事  
加納一則 座長

【リハビリテーション7】  
O-209：桑原 優  
行岡病院 リハビリテーション科

前頭葉症状が目立ちリハビリテーションの導入に苦慮した  
脊髄小脳変性症の一症例

多職種連携と本人の症状に併せた介入を行うことによって、対応が難しい患者さんへの介入を行ったことが良かったと思います。

前頭葉症状が認められる患者に対して、これらの関わりが本当に効果があったのかどうか、より効果的な方法はないのか、効果の出やすい集団があるのか、などについて、今後も検討されると良いと考えました。

東大阪山路病院 リハビリテーション科 主任  
米元佑太 座長

【リハビリテーション8】  
O-217：古澤 隆雄  
社会医療法人仙養会 北摂総合病院  
リハビリテーション科

当院における心臓リハビリテーションの取り組みについて

高齢者社会の中、高齢心疾患患者の増加に伴う問題点を捉えて集団プログラムの構築をされ効果を証明されてきました。今後課題にもありました個別リハとの検討もされることを期待しております。

大阪晴愛病院 リハビリテーション科 部長  
守安久尚 座長

【ME】  
O-219：安原 猛  
守口生野記念病院 臨床工学科

## COVID-19患者に対するV-VECMOへの取り組み

中規模病院においてCOVID-19感染重症患者6名の治療にECMOを使用し、多職種によるきめ細かい患者治療・観察を通して、CHDF併用によりECMOからの早期離脱が可能となる知見を得た。今後の治療に大変有益と思われる。

大阪赤十字病院 病院長  
坂井義治 座長

【感染症（COVID-19）対策1】

O-228：三浦 太郎

社会福祉法人美郷会

特別養護老人ホーム美郷 介護療養部

## 介護施設における新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて～多職種協働による初動の重要性～

グループ内に介護施設、在宅サービス施設が28施設73事業所と多数あり、コロナ感染対策において、これらを統合管理した実績を高く評価します。目標を、感染拡大を防ぐことと明確に定め、精緻なマニュアルを整備し、連絡網を引き、適時指令を出して制御していた様子が良く分かりました。

感染27件中水平伝播が2件であったとの結果は素晴らしいと思います。発表も、コンパクトに要点をまとめた良い内容になっています。

国立病院機構大阪医療センター 病院長  
松村泰志 座長

【感染症（COVID-19）対策2】

O-236：大槻 摩弥  
市立豊中病院 産婦人科

## 当院におけるCOVID-19感染妊産婦の 周産期管理について

COVID-19感染妊産婦を多数管理され、そのご苦労が良く伝わってきました。優秀演題に値すると思いますので推薦させていただきます。

大阪市立十三市民病院 病院長  
西口幸雄 座長

【感染症（COVID-19）対策3】  
O-242：日下部 悠介  
大阪府済生会野江病院 呼吸器内科

## COVID-19肺炎の診断における気管支肺胞洗浄による 検体採取の意義

COVID-19のPCR診断の検体として、鼻咽頭拭い液が標準的であるが、測定限度の限界から、PCR陰性となり、COVID-19の診断に至らない症例が存在する。本研究では、気管支肺胞洗浄液のPCR検査を行い、陽性を確認できる症例があることが示された。正確な診断、早期の治療、他への感染防止に極めて有用であり、優れた研究成果であると考ええる。

市立豊中病院 総長  
吉川秀樹 座長

## 【感染症（COVID-19）対策4】

O-252：北井 佳奈子  
淀川キリスト教病院

### 新型コロナウイルス感染症に関する薬剤師の取り組み

薬剤科が主体的に専用病棟の薬剤業務の見直しに着手されたことは、院内感防止上、意義が大きいと思います。また、専門性を活かしてワクチンに関するタイムリーな情報の配信や、接種について手順に取り組みされたことは、ワクチンに関する啓蒙活動、安全管理について大きな成果を残されたと感じました。近隣薬局と連携をとり、自宅・ホテル療養者の薬剤交付支援を行ったことは、患者の安心につながりよい地域貢献ができたと思います。

守口生野記念病院 感染症対策室長  
副島明美 座長

【感染症（COVID-19）対策5】

O-258：伊藤 隆信

市立東大阪医療センター  
リハビリテーション技術科

## 当センターにおけるCOVID19患者に対する リハビリテーションの取り組み

隔離を強いられるCOVID-19患者にとって、身体面・精神面・社会的にもリハビリは有用と思います。感染リスクの問題で介入できていない施設がたくさんあります。貴院のようにリハビリチームが直接介入へと積極的に関わり、チーム編成、セラピストの精神的ケアまで多岐にわたる様々な課題を解決し、多くの方の介入をされたことに感動いたしました。

佐藤病院 医療安全管理室 師長 感染管理認定看護師  
三浦利恵子 座長

## 【感染症（COVID-19）対策6】

O-266：中村 浩子  
NHO大阪医療センター

### 新型コロナウイルス陽性患者受け入れのための病床運営

COVID-19感染症陽性患者受け入れの要請に伴って、地域の災害拠点病院として果たすべく役割を明確にし、職員に丁寧に理解を求められたことがとても印象的でした。またコロナ病棟運営だけでなく一般診療への影響を最小限とするため、診療の質を担保しつつも働く職員のキャリアニーズを大切にしながら人事異動にも対応してこられた過程が伝わってきました。

COVID-19感染症流行第6波が来るとも言われている状況の中で、病院スタッフが丸となってこの災害に立ち向かっていくことの重要性を確認させていただくことができた発表でした。お疲れ様でした。

医療法人渡辺医学会桜橋渡辺病院 感染制御室 師長  
宮崎利恵 座長

【医療安全1】  
O-268：天野 晃輔  
浅香山病院 ME室

当院における抜針事故対策について  
～透析中の大量出血事故を経験して～

透析中の大量出血を予防する対策を具体的に検討し、わかりやすい発表でした。また他施設でも参考になることが多いと思われ実用度も他の発表に比べあるものと考えます。

和泉市立総合医療センター 病院長  
松下晴彦 座長

## 【医療安全2】

O-276：高橋 和子  
国家公務員共済組合連合会  
大手前病院 中央手術室

### 手術安全チェックリストの再構築

何でもデジタル化していく中で、手術安全チェックリストを部屋の壁へ掲示し見える化したり、実施に向けて医師・看護師共に声掛けを行いスタッフ間のコミュニケーションの向上を図るなどアナログ的行為も取り入れ、実施率が73.2%から100%となり、関連のインシデントも0件と大変良い成果ができています。課題にもされていましたが、今後も継続されていくよう頑張ってください。スライドも現場の写真もあり大変見易かったです。

大阪脳神経外科病院 専務理事・事務部長  
谷口 太 座長

【救急・災害医療】  
O-280：平尾 なぎさ  
社会医療法人弘道会  
寝屋川生野病院

救急受け入れ体制の構築  
～ベッドコントロールの重要性～

限られた医療資源の中で救急患者を効率よく受け入れるためには、リアルタイムのベッドコントロールが重要で、そのためには空床情報の一元化と病床コントロールタワーが必要になる。本発表では、ベッドコントロールタワー（担当者）を配置し、その担当者に情報を集約しただけでなく、病床コントロールと救急受け入れの権限まで一元化したところが素晴らしい。言うは易だが行こなうは難しの体制を実現し、その結果、救急応需率が80%から96%まで上昇しただけでなく、救外ナースや病棟ナースのストレスまで解消しており、称賛に値する発表である。

りんくう総合医療センター 病院長  
松岡哲也 座長

【ICT】

O-284：菊川 悠人  
社会医療法人大道会  
本部医療情報部情報システム課

## RPAによる業務の自動化について

医療法人：大道会では、コンピューター上の手作業を自動化するRPA（Robotic Process Automation）を病院経営の効率化に利用してきたが、今回は、病院業務にてRPAを活用して、その自動化に挑戦した。その結果、業務内容を分析、作業手順を明確にしたことで、大幅に事務作業を効率化することができた。今後、自動化を様々な領域に拡大し、働き方改革に大きく貢献することが期待される。

大阪府済生会野江病院 病院長  
三嶋理晃 座長

【人材育成1】  
O-290：矢倉 久仁香  
社会医療法人若弘会  
若草第一病院 薬剤部 薬剤課

## コロナ禍での薬学実務実習指導を通じた学び

コロナ禍で遠隔実習と臨地実習とを織り交ぜながら薬学実務実習を行い、それについて検討をくわえたというまさに時宜を得た発表である。他施設にとっても興味ある内容であったと思われる。

JCHO大阪みなと中央病院 病院長  
細川 亙 座長

## 【人材育成2】

O-297：田中 雅樹

社会医療法人生長会府中病院  
クオリティー管理センター患者支援室

### 次世代リーダー養成研修を実施して

コロナ禍におけるWEB活用の演題が多い中、5年間継続しておこなっている「次世代リーダー養成研修」の発足から今後の目標までを、独自性と多職種連携で継続し、成果を挙げられている点が高く評価できる。また今後の目標も院長のガバナンスに基づき現状に甘んじず見直しを図られている点も合わせて高評価できる。

社会医療法人愛仁会 総務担当理事本部局 次長  
川本麻理子 座長

【働き方改革1】  
O-300：種村 瑠美  
医療法人歓喜会  
辻外科リハビリテーション病院

## 医事課内の働き方改革について

病院の方針として、結婚しても仕事を辞めないライフワークバランス、勤務時間内での業務完結、お正月やGWでもレセ出勤無を掲げている点は、働き方改革の視点が優秀である。また、それらを実践するため、シフト制による効率的な働き方、担当制を超えた助け合う対策など、担当者が積極的な取り組みを実践している点も評価できる。

社会医療法人ペガサス馬場記念病院 理事・事務部長  
田中恭子 座長

【働き方改革2】  
O-307：明渡 一美  
市立東大阪医療センター 看護局

集中治療室における12時間夜勤の導入

現在多くの病院では16時間夜勤の変則2交代勤務となっているが、負担が大きい。遅出を入れた12時間夜勤は長時間勤務を回避し、均等に人員を配置できる体制で、現在この病院では、ICUなどの一部の病棟でのみ運用されている。時間外勤務の減少、休憩時間の確保などメリットも多く、働き方改革を推し進める上で広く院内で運用できるように意図せぬ休暇の取得などの課題があるが、取り組む価値のある新たな勤務体制であると考えられる。

市立東大阪医療センター 病院長  
辻井正彦 座長

## 【誌上発表】

P-8：袖川 聖子 八尾市立病院  
「認知症ケアチーム介入による効果と今後の課題」

P23：河合 ひとみ 八尾市立病院  
「慢性静脈不全患者に対する多職種連携による取り組み」

P-26：奥 光聖 大阪府済生会吹田病院  
「当院脳梗塞症例の入院早期における転帰予測の検討  
～ABMS-IIが転帰予測の指標となり得るか～

P-33：吉野 葵 市立池田病院  
「骨転移に対する疼痛緩和照射を受ける患者への  
緩和ケアチーム介入の現状と課題」

誌上発表（抄録）から、優秀演題を選出するのは困難なところがあるが、その基準として、①研究のテーマが、本学会にふさわしく当会の医療従事者にとって興味深いと思われるもの、②対象症例数が比較的多く、導かれた結果の信憑性がより高いと考えられるもの、③目的・対象・方法・結果・考察・結論等の学会発表としての体裁が整っているもの、④データ（結果）が数字で示してあり、客観性があると思われるもの、⑤比較すべき対照群があり、より科学的と思われるもの、⑥多職種が参加したチーム研究であること等を考慮して4題を選出した。

第21回大阪病院学会 学会長  
佐々木 洋